

## **クビアカツヤカミキリ**

**被害** サクラやウメ・モモ等のバラ科樹木を加害。

幼虫の食害が進むと樹木は枯死。

**特徴** 胸が赤色。体はつやのある青みがかった黒色。

**原産** 中国およびその周辺地域。

**現状** 2011年に埼玉に侵入。現在12都府県、東京、埼玉、茨城、栃木、群馬、神奈川、愛知、三重、奈良、和歌山、大阪、徳島で確認。

**生活史** 成虫は6-7月に出現。

1頭あたり1,000個を超える産卵例あり。

幼虫は生きた樹木の内樹皮と材を食べる。

幼虫の糞と木屑の混ざった鋸屑状の碎片（フラス）が地際に積もる。

材内部の深い場所で蛹になる。

気づかれずに材と共に移動。

**海外** ドイツやイタリア等に侵入。イギリス・アメリカでは港湾で検出。

**防除マニュアル**：「クビアカツヤカミキリの防除法」（PDF：12,493KB）

**リーフレット**：「クビアカツヤカミキリはすぐそこに」（PDF：7,013KB）

両方とも以下のサイトからダウンロードできます

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/chukiseika/5th-chuukiseika12.html>

**お願い** 本種の根絶を目指す緊急の対応が求められています。

発見したら発見箇所の自治体および以下のアドレスまでご連絡ください。

[sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp](mailto:sakurakamikiri@ml.affrc.go.jp)

国立研究開発法人 森林研究整備機構

森林総合研究所 森林昆虫研究領域